

播磨臨海地域道路早期実現への進め方

北野 国道2号バイパス、加古川・姫路バイパスは、今、交通容量が大きく不足して悲鳴を上げています。次の世代の繁栄のためには播磨臨海地域道路の早期実現が必要不可欠。物流効率を高め、製造業の活性化、投資促進、観光周遊の促進、交通事故の消滅、災害に強いまちづくりに貢献します。播磨臨海地域カーボンニュートラルポートの前進にも必要不可欠なインフラです。都市計画決定へ地域住民の説明会が行われる段階ですが、どのように進められるのですか？

まちづくり部長 地域住民との合意形成が課題。沿道の全世帯に資料配布を行うとともに、県及び市町の広報紙やホームページで説明会の開催日程や計画内容を広く周知します。説明会は地区単位できめ細かく開催し、整備の必要性、ルート、インターチェンジの位置等について分かりやすい説明に努めます。地域住民が意見を述べる機会を十分に確保し、それらの意見を踏まえて都市計画案を取りまとめます。

北野 まさしく播磨臨海地域道路こそが、我々の世代が果たさなければならない未来に対する責任です。早期実現へ力を合わせて取り組んでまいります。

歴史的文化遺産 県公館で議会開催

耐震性の問題により4月から議場棟が使えなくなったため9月定例会は県庁南側の県公館で本会議が開催されました。県公館は明治35年(1902年)に県本庁舎として建設され、永きにわたり県政の歩みを刻んできた歴史的文化遺産です。フランス・ルネサンス様式の建築美を今に伝えています。議会を傍聴された方からは兵庫県の伝統を感じながら議論を聞くことができたという好評でした。



灘のケンカ祭り

姫路市総合防災訓練・国民保護訓練及び防災フェア

みんなで語るまちづくりの会

日ノ本学園高校新体操部 激励訪問

本気でヤル気 活動写真館 Summer ~ Autumn
コロナを乗り越えて

飾磨署へ、地域の渋滞解消を要望

姫路野球協会会長として開会式

第53回姫路地区少年野球(学童)夏季大会兼神明あかふじ米第35回兵庫県ジュニア軟式野球選手権大会 姫路地区大会

YouTube



ミノルチャンネル



兵庫県議会議員 北野実「逆境を力に変えて」兵



Facebook



Instagram

北野 実
プロフィール



公式サイト

1959(昭和34)年7月19日生 A型
姫路市立東小学校 / 姫路市立東光中学校
兵庫県立姫路西高校 / 立正大学経営学部
姫路野球協会会長 / 自民党姫路市支部幹事長

姫路市議会議員 : (H15 ~)
兵庫県議会議員 : (H19 ~)
好きな言葉 : 不易 流行
ふえきりゅうこう

兵庫県議会議員 **北野 実** きたのみのる
No.27 令和5年12月 県政レポート 実の目
発行所:北野実事務所

攻めの県政で実行力を発揮

第364回定例県議会 一般質問に登壇



令和5年も後わずか。激動する社会の中、この1年、ふるさと兵庫・姫路の発展と子供たちの未来のために全力投球してまいりました。振り返りますと4月30日、県議会の新任期がスタート。8月1日、齋藤県政が3年目を迎え、齋藤知事は「攻めの県政に舵を切る」と宣言しました。そうして迎えた第364回9月定例県議会(9月20日~10月23日)では、県民生活の安全・安心の確保等を柱とした9月補正予算案などをはじめ、令和4年度決算案を審議しました。いわば齋藤県政2年を総括し、残る任期2年の方向性を示す重要な定例会であり、私は9月27日の一般質問に登壇しました。1年前、血液のがんの診断を受けましたが、治療の結果、「完全寛解」(がんがすべて消えている)と最終診断され、再び議場に立つことができ、非常に感慨深いものがありました。



▲地域の秋祭りに参加。コロナ前の賑わいが戻ってきました。感染症と闘った教訓を地域振興に生かします



▲様々な場所・場面で精力的に県政報告を行っています▼

市民の声を予算編成で実現

質問では、齋藤知事の基本姿勢である県民ボトムアップ型県政に関わる取り組みをはじめ、「がんサバイバー」としての視点から、がん対策の推進について、そして播磨、兵庫、さらには日本の発展に欠かせない播磨臨海地域道路の早期実現など5項目6問に、私の使命とする対話と現場主義によって「誠実」さを貫き、「命を守り」「未来への責任」を果たす決意を込めました。その概要を2~4面に掲載いたしましたので、ご一読ください。

これから新年度予算の編成作業が本格化します。市民の皆さまの声、願いを政策化し、新年度予算で実現できるよう全力を尽くします。齋藤知事が掲げた「攻め」の姿勢は、私の本領であり、持ち前の実行力を存分に発揮し、齋藤知事とともに「躍動する兵庫・姫路」の実現を目指します。一層のご支援、ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

兵庫県議会議員 北野 実



▲文部科学省にて室伏スポーツ庁長官と兵庫のスポーツについて意見交換



第364回9月定例県議会一般質問

命を守り県民本意の県政を実現

県全体としての新しい働き方は

北野 今後の県庁舎の在り方検討にも強く関連し、4割程度の出勤率を想定したフリーアドレスやペーパーレスで働く新しい働き方モデルオフィスが生田庁舎で試行実施されています。県政を支える職員の働き方は重要なポイントで、県庁の働き方改革も新しい働き方モデルオフィスの開始により振り子が大きく振られたと大きな期待と評価をしています。本庁で新しい働き方が進展し、働く場所が柔軟化されることにより、県民サービスの提供を最前線で担う県民局・県民センターとの新たな連携や協働も可能になります。そこで、県民局・県民センターでの新しい働き方をどのように進めようとしているのか、伺います。

知事 在宅勤務だけではなく、県民局に設置したサテライトオフィスやコワーキングスペースの活用も進めます。本庁と県民局の職員が同じ場所で働き、コミュニケーションの機会を増やすことで、本庁では企画立案に現場の実情や意見をよりの確に反映でき、県民局では全庁の施策方針を踏まえた事業展開なども可能になります。新たな事業への取組も期待できます。引き続き、場所にとらわれない柔軟な働き方を進め、本庁と県民局の更なる連携促進を図ります。



出勤率4割を想定した生田庁舎のモデルオフィス。問仕切りのないオープンな空間で、固定席は設けず、グループテーブル等によるフリーアドレスを採用

知事の対話と現場主義について

北野 知事は現場で見て聞いて施策に反映させるのが主義と言われ、対話と現場主義を実践するために、県民と知事との対話の場である躍動カフェや学生未来会議、ワーケーション知事室などを開き、様々な地域を訪問されています。これらの多種多様な対話と現場主義を県政にどう生かして県民ボトムアップ型県政の推進を図り、躍動する兵庫の実現に結びつけますか？

知事 県民と丁寧に対話を重ね、地域課題、ニーズを県政に反映しています。対話と現場主義は私だけではなく職員一人ひとりが実践し、県民本位の意識を浸透していくということで、県民ボトムアップ型県政、さらには躍動する兵庫の実現を目指します。



齋藤知事と若者による「学生未来会議」の様子

「はり姫」における働きやすい職場環境づくり

北野 県立はりま姫路総合医療センター、愛称はり姫は開院より1年半、本年4月にフルオープンし、県民の命を守る最後の砦としての使命を順調に果たしています。一方で、医師の働き方改革における課題は深刻で、働きやすい職場環境づくりは重要です。医師の働きやすさにおいても地域をリードする病院にぜひなって頂きたい。

病院事業管理者 育児を支援するための短時間勤務の在り方など、フレキシブルな勤務形態に

がん対策について

がん対策推進計画の改定に向けた重点是

北野 国民の2人に1人はがんに罹患するという現状ですが、並行して生存率も大きく伸びており、5年相対生存率は、男女合わせて64.1%というのが現状です。また早期発見により、治療の選択肢が増え、完全寛解、完治するということです。県では、がん対策推進計画を策定していますが、令和5年度は県計画の改定の年となります。本県の現状分析をした上で、どのような点を重点と考え計画を策定されるのか、伺います。

保健医療部長 現計画の取組状況を踏まえ、次期計画は、がんの予防や早期発見・早期治療のため、適度な運動やバランスの取れた食生活



がん患者会「はまなすの会」の会員になり「はまなすの家」を訪問。質問の内容に反映させていただきました

ついて、様々な方策を検討してまいります。

医師の働き方改革をどう進めるのか

北野 先日来、県立病院の時間外労働等々について報道されていますが、県立病院の医師の働き方改革について、知事自身はどのように考え、今後対応されるのか、伺います。

知事 直ちに病院局内に改善に向けたプロジェクトチームを設置するよう指示しました。医師の時間外労働の要因をしっかりと分析し働き方改革に全力で取り組みます。(4面に続く)



の実践など生活習慣の更なる見直しや、がん検診受診率向上対策等が重要です。医療提供体制の充実や治療と仕事の両立支援、がん教育の推進等も欠かせません。専門家や患者団体等の意見を伺い、実効性のある計画を策定します。

がんに罹患しても安心して暮らせる環境整備を

北野 がん相談窓口の機能を充実させるためには、がんを経験した方々であるピアサポーターによる経験を生かした心のサポートを身近で受けられるような環境づくりが必要です。がん患者会との連携も有効です。健康福祉常任委員会で視察した尼崎総合医療センターのようにがんセンターに独立させた形は、相談しやすく非常に有効と考えました。相談窓口の在り方を見直す必要があると自身の経験からも感じていますが、どのように対応されますか？

保健医療部長 指摘のような相談場所があることは、患者やその家族等にとって選択肢が増え、それぞれのニーズに合わせた利用ができます。引き続き患者会等と連携しながら、更なる普及を図り、社会全体で患者やその家族を見守り、支えられるよう努めてまいります。

県立5病院違法残業で知事
働き方分析チーム設置へ

兵庫県から病院医師へ時間外労働の月をかり、医師を指すか違法残業の調査。150時間以上残業は、医師の健康を脅かすとして、労働基準センターと西宮病院で調査から運動量を受け、計4人から150時間以上の残業を指摘。27日、県病院長に対し、開院した尼崎総合医療センターの働き方改革に向けた、加川保健センター、オメイシア（O.S.）を調査する。調査結果は、県民に公表する。Pは関係者で構成する。現場からも意見を聞き取り、医師の時間外労働の上限に達しないよう、県民に公表する。

一般質問の内容はミノルちゃんねるでも配信されています。QRコードからアクセスして下さい

県立5病院違法残業で知事
働き方分析チーム設置へ

一般質問の内容はミノルちゃんねるでも配信されています。QRコードからアクセスして下さい

一般質問が地元日刊紙などで取り上げられました